

令和4年度
小・中学校教育課程編成の手引
【Topics編】

GIGA StuDX

北海道教育委員会

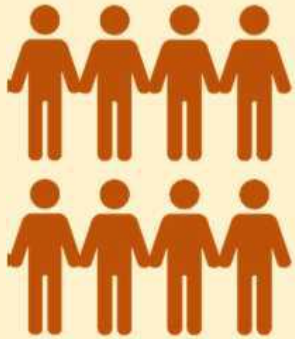
GIGA StuDX推進チーム

GIGAスクール構想の実現に向けて、1人1台端末及び高速大容量通信ネットワーク環境の積極的な活用を推進するため、文部科学省では「GIGA StuDX 推進チーム」を設置し、教育活動において参考となる事例の発信、課題の共有等を通じて、全国の教育委員会・学校に対する指導面での支援活動を行っています。

GIGA StuDX 推進チーム



- 令和2年12月に設置し、令和3年4月より、全国から8名の教師を増員



- 地域別に担当を付け、担当地域の教育委員会等と協働のためのネットワークを構築
 - ▶ 学校・地域コミュニティの自走を支援



- 優良事例や現場の悩み・課題、実情などをくみ取り、文科省の政策に反映

GIGA StuDX 推進チームの活動



現場とのネットワークの構築



担当地域を中心に全国の教育現場の情報を収集・発信



教育委員会等と日常的にやり取りを行う



情報交換プラットフォームの提供



地域ブロックや教科等のテーマ別に全国の教育委員会等の担当者が有益な情報交換を行い知見を深める場を構築
(オンラインも積極的に活用)



StuDX Styleからの情報発信



特設ホームページ「StuDX Style」で活用事例やインタビューなどの有用な情報を随時発信



メールマガジンの配信



StuDXメールマガジンにより、ICT利活用を推進する教育委員会等の担当者や学校教員に有益な情報を定期配信

StuDX Style

GIGA StuDX 推進チームでは、GIGAスクール構想により整備された新たな機器等を、文房具や教具と同様、日常的に活用していくイメージを各設置者や学校現場の先生方にもっていただけるよう、先進的に実践を進めてきた自治体・学校の実践事例等について、文部科学省「StuDX Style」ウェブページで情報発信しています。

スタディーエックス スタイル

StuDX Style

GIGAスクール構想をを浸透させ 学びを豊かに変革していくカタチ

"すぐにでも" "どの教科でも"
"誰でも"活かせる1人1台端末の活用シーン

慣れる
つながる
活用

各教科等
での活用

STEAM教育等の
教科等横断的な
学習

教師と子供が
つながる

子供同士が
つながる

学校と家庭が
つながる

職員同士で
つながる

GIGAに慣れる (文房具や教具として使えるようにする)

StuDX Style

“すぐにでも”“どの教科でも”
“誰でも”活かせる1人1台端末の活用シーン

慣れる
つながる
活用

各教科等
での活用

STEAM
教育等の
教科等横断的
な学習

教師と子供がつながる

子供同士がつながる

学校と家庭がつながる

職員同士でつながる

協働学習等における端末活用の事例

3-①

1008 課題「文明開化を学び、生活様式が大きく変わる現代社会について考えよう。」

授業の導入でひな形学習カード配信

3-②

付箋操作のオンライン化

3-③

アウトプットを共有して互いのよさを発見

各教科等における 1人1台端末の活用に係る事例

慣れる
つながる
活用

各教科等
での活用

STEAM教育等の
教科等横断的
な学習

小学校・第2学年・国語科・学校のお気に入りの場所を1年生に紹介しよう①

育成を目指す資質・能力（主たる指導事項）
第1学年及び第2学年「A話すこと・聞くこと」
伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。（話すこと）

ICT活用のポイント

- ① 学習支援ソフトを用いて、友達と撮った紹介したい場所の様々な写真の中から、紹介したい事柄に合う写真を選ぶことができたり、その場所の特徴を考えたりすることができる。
- ② ICT端末の写真・動画撮影機能を用いて、紹介したい場所を各自が撮影したり、紹介の練習を撮影し合い、その動画を一人でもまたは友達と繰り返し視聴し、声の大きさや速さなどを工夫したりすることができる。

事例の概要

- ◆ 1年生に紹介したい学校内の場所をクラスで出し合い、ICT端末を用いて写真を撮ってくる。教師がそれらの写真を確認の上、共有フォルダ内に保存する。
- ◆ 写真を見ながら紹介したい場所を選び、必要な写真を自分のICT端末に保存し、紹介する事柄（その場所の様子、その場所で行えることなど）を短冊カードに書き出す。
- ◆ 短冊カードを選び、それを動かしながら「始め—中—終わり」の順序を考える。
- ◆ 紹介の練習を撮影し合い、その動画を一人でもまたは友達と繰り返し視聴し、伝えたい事柄に合わせて声の大きさや速さなどを確認したり工夫したりする。
- ◆ 1年生にお気に入りの場所を、ICT端末で写真を見せながら紹介する。

国語

特別の教科 道徳

総合的な 学習の時間

国語

特別の教科 道徳

総合的な 学習の時間

特別活動

【参考資料】

・ 「StuDX Style」 ウェブページ（文部科学省）

URL : <https://www.mext.go.jp/studxstyle/>



ICT活用ポータルサイト（北海道教育庁ICT教育推進課）

ICT教育推進課では、「ICT活用ポータルサイト」を開設し、先生方がICTを活用する際の参考となる情報を集約しています。

授業モデル

ICT活用授業モデルポータルサイト

Tips編
授業等でICTを活用する小さなヒント(Tips)集

デザイン編
1単位時間の授業全体の展開

ICT活用ポータルサイト

通知

1人1台端末の
効果的な活用に向けて

GIGA
ワールド通信

ICT活用
「みんなで研修」
プログラム

ICT活用
授業指針

道立高校における
BYOD
パンフレット
BYOD: Bring Your Own Device
(個人が所有する端末を学校で利用すること)

入札

リモート学習
応急対応
マニュアル

ICT活用ミニハンドブック

- Google Workspace
- ウェブアンケート
- クラスルーム
- 情報モラル教育 など

ICTを活用しようとする最初の段階で参考となる情報を簡易に説明したものです。

ICT関連情報

- 教員研修
- クラウドサービス
- ICT活用事例
- プログラミング教育
- GIGAスクール構想 など

それぞれの項目に関連するリンク集です。

ICT活用TIPS

何を
使う

PC、タブレット、スマホなど
ソフトウェア(アプリ)
Googleアカウント(教員のみ)
QRコード作成サイト(任意のフリーサイト)

それをどう使う(それで何ができる)

- 授業評価アンケートをGoogleのFormで作成する
- そのリンクをQRコードで作成する。(フリーでQRコードを作成できるウェブサイトがある。)
- QRコードを配付したり、授業の終わりにQRコードを生徒に読み取らせたりしてアンケートを入力させる

ここが変わる、活用メリット【ICT活用 Before-After】

○高校 全教科等

【 Before 】

- 授業の振り返りや授業評価の集計の労力が大きい。
- アンケート結果を生徒にフィードバックするための資料作成が必要となる。

ICT活用授業モデル(デザイン編)

ICTを活用した国語(書写)の授業

小学校 教科【国語(書写)】 単元【知識・技能】おれの書き方「日」

主体的・対話的で深い学びのポイント

クラウド上に保存した教師等の動画を活用し、児童が確認したおれの書き方のポイントについて、繰り返し再生し、確認しながら進められることができる。

ICT活用のポイント

クラウド上に保存した教師等の動画を活用し、点検の書き方を確認することで、おれの書き方や特徴を視覚的に確認することができる。

主な学習活動(学習場面)	ICTの活用・留意点等	評価
導入	○前時の振り返りをする クラウド上に保存している作品を見て、前時の学習を振り返り、点検の書き方の特徴を確認する。	確認1
	○本時の課題を確認する 「日」の書き方のよい例と悪い例を比較しながら本時の課題を確認する。	確認2
	○解決の見通しを確認する クラウド上に保存している動画を見ながら、本時の課題解決の見通しを確認する。	確認3
	○試し書きをする 手書きで試し書きをし、作品を確認し、クラウド上に保存する。	確認4

ICTを授業で効果的に活用するモデルを校種別、教科別に掲載しています。

【参考資料】

- 「ICT活用ポータルサイト」
(北海道教育庁ICT教育推進課)
URL: <https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/index.html>